



これをきつかけ
にしばしば議会を
傍聴する様になり、
真剣な質疑応答、
また判り良くする
ため物品を演台に

置いてのパフォー
マンス質問等々、
真剣にまた面白く傍聴してきま
した。残念に思うのは議会で討議する
問題なのか？と思われる様な質問が
出ることです。
我々市民の生活が懸かっているの
です。どうかこれから鴻巣市民、
鴻巣市全体を考慮した質疑をして欲
しい、また議会は市民全体のための
議会であってほしいと願っています。
土屋 恒雄さん（登戸在住）

昨年春、ある事がきっかけで議
会を傍聴する事になり、偶然傍聴初日
に関心を持っていた事柄が質疑応答
され、自然と力が入り大変面白く真
剣に傍聴しました。

市民全体のための議会を

議会を傍聴して

表紙によせて



市民の憩いの場 せせらぎ公園の噴水

市役所とクレアこうのすの間にある
「せせらぎ公園」。暑い日には、たくさん
の子どもたちが遊んでいます。

編集委員会

委員長 野本恵司
副委員長 潮田幸子
委員 斎藤忠司
菅野博子
船田敏子
長嶋貞造
秋谷修
金澤孝太郎

（秋谷 修）
議会だよりでは、皆様方
らの負託に議員がどう応えて
いるのかを出来るだけ分かり
やすく伝えられるように委員
一同研究を重ねているところ
ではありますが、百聞は一見
にしかず。是非とも改めて議
会を傍聴していただけたらと
思います。

請 願

政府および国会に「非核三原則」の法制化を求める意見書 提出についての請願書（採 択）

広島・長崎の原爆被爆から65年を迎えようとしています。

人類が作り出した最も残忍な兵器、核兵器による地獄を体験
させられた私たちは、今日まで、自らの命を削る思いで被爆体
験を語り、核兵器による犠牲者が二度と生まれないことを強く
願って、運動を続けてまいりました。

この地球上から核兵器をなくすことは、私たち被爆者の悲願
です。

日本は、核兵器を落とされた唯一の国として、核兵器の廃絶
に向けて主導的役割を果たすべきです。

そのため、私たち被爆者は、「非核三原則」の法制化を求め
ます。

意見書

「非核三原則」の法制化を求める意見書（可 決）

「広島・長崎の惨事を繰り返すな」という原爆被害者の悲痛
な願いをはじめとして国民世論でわが国は、昭和42年以来「非
核三原則」を国是としてきた。そして世界諸国民の運動と世論
で、いくどとなく訪れた核兵器使用の危機を防いできた。

本市においても昭和62年に「非核平和都市宣言」を行い、核
戦争の根絶と核兵器の廃絶を求めてきた。

日本は、世界で唯一の被爆国として、核兵器の廃絶に向けて
主導的役割を果たすべきときである。そのためにも、「非核三
原則」を国是として掲げるだけでなく、その法制化を早期には
かることによって、国際的な世論のリーダー役としての明確な
意見を示すことができると確信する。

よって、政府および国会においては、「非核三原則」の法制
化を早期に行うことを要請する。

決 議

公正な選挙の実現に関する決議（可 決）

公職選挙法は、選挙が選挙人の自由に表明せる意志によって
公明かつ適正に行われることを確保し、もって民主政治の健全
な発達を期することを目的とし、公正な選挙実現を目指してい
るところである。

鴻巣市議会は、公職選挙法が目指す法秩序の精神にかんがみ、
来るべき参議院議員選挙、鴻巣市長選挙、鴻巣市議会議員補欠
選挙及び来年執行される統一地方選挙において、公正な選挙の
実現のため整然と選挙活動を行わなければならない。この立場
から公職選挙制度の本旨に則り一切の不法行為を断固排除する
とともに、選挙浄化を実現し、健全な民主政治の確立、豊かな
福祉社会の建設に寄与すべきである。

よって、この趣旨を周知徹底し、清潔かつ公正な選挙を実現
する。

編集後記

いつも議会だよりをご覧い
ただきありがとうございます。

議会に対する様々なご意見
を頂くたびに、市民の皆様の
議会に対する考えや思いを痛
感させられています。厳しい
ご意見や「もっとしつかり」
という励ましの声に少しでも
応えられるように、鋭意努力
を重ねて行きたいと思いを
ます。

さて、3月定例会から議員
の一般質問の方法が変わりま
した。傍聴に来て頂いている
方々にも「以前に比べて分か
りやすくなった。」と好評のよ
うです。

議会だよりでは、皆様方